

## 若手研究員が農家で研修

農業環境技術研究所は、平成25年度より若手研究員を対象とした農家研修をおこなっています。この研修は、これからを担う若手研究員が、意欲的な経営をおこなう農家で1週間ほど宿泊しながら農業を体験することで、農業と農業環境研究について、また、自身のキャリアについて考える機会とします。NPO法人「田舎のヒロインズ」にご協力をいただき、2年間で29人が研修を受けました。ここでは、3名の研究員の体験や成果を紹介します。

(企画戦略室)

### 大気環境研究領域 小野 圭介 主任研究員

(H25年度研修 長野県果樹農家)

**仕事内容:** イネ収穫、モモ収穫・出荷準備、リンゴの葉摘みなど

**驚いたこと:** 普段は水田を対象に研究しているので、果樹園で聞くこと見ること体験すること、すべてが新鮮で驚きの連続でした。作業の一つ一つに、お世話になった方々の人生観が色濃く反映されていたことも大変印象に残っています。

**研修の成果:** よい研究をおこなうためには、生産者の視点は不可欠です。今回の研修によって、その具体的な視点を増やすことができました。難題に直面したとき、お世話になった生産者の方々ならこの問い合わせどのように答えるだろうかと仮想的に問答しています。



### 生物多様性研究領域 大久保 悟 主任研究員

(H26年度研修 福井県酪農家)

**仕事内容:** 採卵鶏の管理、果樹園の草刈りなど

**驚いたこと:** 生産から加工・販売まで、家族経営の中でできるさまざまなことを実践されていることに驚きました。

**読者に伝えたいこと:** 常日頃感じていたのは、仕事で訪れるインドネシアなどの農村と比較して、生きる力の圧倒的に低下した日本人の危うさです。私の一つ前の世代は子供の時に農作業の体験がある方も多く、家庭菜園する技術はお持ちかと思います。一方、自分や自分の子供達が自給自足の生活をする力があるかと言われると、自信がないのが正直なところです。今回の研修を通じて、改めて自分の生きる力の低さを認識するとともに、親として子供達に生きる力を与えられなければならないと学びました。



### 生態系計測研究領域 岩崎 豊典 主任研究員

(H26年度研修 熊本県水稻農家)

**仕事内容:** 水田の除草や管理など

**研修の成果:** 受け入れていただいた大津さんご夫妻は、年齢や専門分野が近いために、色々とお話ができました。地域の問題を考える上で地図データが欲しいということで、ユーザー参加型で地図を作成する「OpenStreetMap」を紹介したところ、興味を持ってくださいました。地域作りに自分の研究が貢献する方法がわかり、とても参考になりました。

